

# 令和3年度 事務事業評価シート（1）

## [ 令和2年度事務事業 ]

一般会計		事務事業分類		A 一般事務事業	
事務事業名		病児保育事業		事業番号	
				014-023	
担当部署名		子ども青少年	局	子ども青少年育成	部
				子ども育成	
				課	

### I. 基本情報

#### 事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	3.将来に希望が持てる子育て・教育 ~Children's future~		施策	(1) 妊娠から学齢期まで切れ目のない子育て支援の充実		
		有	取組の方向性	①妊娠・出産期から乳幼児期までの子どもと家庭への支援						
		寄与するKPI	有・無	指標名	—					
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	—	目標値	—			
		有	取組	—						
		寄与するKPI	有・無	指標名	—					
		無	現状値	—	目標値	—				
2	関連計画		堺市子ども・子育て総合プラン							
3	事業開始年度		平成 14 年度		点検年度		令和 7 年度			
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)		児童福祉法、病児保育事業実施要綱、子育て援助活動支援事業（ファミリー・サポート・センター事業）実施要綱							

#### 事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)		本庁							
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)		生後6か月から小学校6年生までの児童を養育する家庭							
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)		子育て中の保護者の仕事と育児の両立を支援し、安心して生み育てやすい環境を整備する。							
8	事業内容 (目的を達成するための手段)		【施設型】 医療機関併設型及び医療機関近郊・連携型の病児・病後児保育施設の運営を委託、又は運営費の一部を補助。							
	※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など		【訪問型】 訪問型病児保育事業の運営をNPO法人へ委託。							
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載									
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)		医療機関、NPO法人							
10	公民連携・協働事業									

### II. 事業目的の達成状況

#### 事業の成果や活動実績の測定

成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績		目標	目標	点検年度
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和7年度	
11 延べ利用者数 (施設型・訪問型)	人	目標値	3,200	3,200	245		
		実績値	2,504	192			
		達成率	78%	6%			
		当該指標を選定した理由		安心して生み育てやすい環境の整備について、需要や進捗の把握につながるため。(令和3年度も引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により利用者の減少が想定されるため、目標値を修正)			
目標値の設定根拠・算出方法		実績等を勘案して設定					
12 活動指標(成果を上げるための手段) 病児保育サポート会員数 (訪問型)	人	目標値	60	60	60		
		実績値	38	44			
		達成率	63%	73%			
		当該指標を選定した理由		訪問型病児保育事業を安定的に運用するためには、サポート会員の確保が必要であるため。			
目標値の設定根拠・算出方法		実績等を勘案して設定					

## 令和3年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	病児保育事業	事業番号	014-023
-------	--------	------	---------

### Ⅲ. 投入量

#### 事業コスト

(単位：千円)

項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度		令和3年度
	決算	決算	予算	決算	予算
事業費 (a)	81,829	79,836	92,070	80,079	92,086
13財源内訳					
国支出金	20,057	16,434	24,930	14,413	24,930
府支出金	20,057	16,434	24,930	14,413	24,930
市債					
その他 ( )					
受益者負担金(使用料、手数料等)					
一般財源	41,715	46,968	42,210	51,253	42,226
14人件費 (b)	6,890	6,810	6,890	6,560	6,560
15年間経費(c)=(a)+(b)	88,719	86,646	98,960	86,639	98,646

#### 事業費の内訳

(単位：千円)

項目	年度	事業費		うち一般財源	項目	年度	事業費		うち一般財源
		R2	決算				R2	決算	
16事業費内訳	病児保育施設運営業務	R2	決算	66,648	39,022		R2	決算	
		R3	予算	68,775	28,581		R3	予算	
	病院内施設市民開放事業補助金	R2	決算	2,927	2,927		R2	決算	
		R3	予算	8,711	8,711		R3	予算	
	訪問型病児保育事業運営業務	R2	決算	10,504	9,304		R2	決算	
		R3	予算	14,600	4,934		R3	予算	
		R2	決算				R2	決算	
		R3	予算				R3	予算	
		R2	決算				R2	決算	
		R3	予算				R3	予算	

### Ⅳ. 事業の効率性

#### 単位当たり経費

区分	単位	令和元年度	令和2年度
17 ① 延べ利用者数 (施設型・訪問型)	人	2,504	192
② 上記①にかかる年間経費	千円	86,646	80,079
③ 単位当たり経費 (②÷①×1,000円)	円/単位	34,603	417,078
備考 (算出についての説明等)			

### Ⅴ. 評価

#### 費用対効果に係る所見

18	<p>利用者の大幅な減少は、新型コロナウイルス感染症の影響で、事業の休止や受入れが可能な症状の制限、病気時の家庭内保育の増加が要因と考えられる。</p> <p>一方、事業継続のために、施設の維持・管理の経費は必要であったため、単位当たりの経費が大幅に上がっている。</p>
----	--

#### KPI等への寄与 (基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか)

19	<p>新型コロナウイルス感染症の影響で、子どもが病気の時に保護者が休みやすい社会状況となっているが、病児保育の利用登録者は一定数おり、依然として仕事と育児を両立できる環境を求めていることが認められる。</p> <p>新型コロナウイルスの感染状況に対応しながら事業を実施することで、子育て中の保護者の仕事と育児の両立を支援し、安心して生み育てやすい環境の整備につなげることができた。</p>
----	--